

海外の24選手を含め、64名がエントリー

NTTジャパンカップ第5戦七ヶ浜大会直前情報

日韓親善大会も兼ね、韓国から女子2名、男子4名参加

6月30日(土)、宮城県七ヶ浜町中央公民館で、翌日に開催される2007NTTトライアスロンジャパンカップ第5戦・ITUトライアスロンコンチネンタルカップ七ヶ浜大会の有力選手記者会見が行われた。

出席したのは、女子が高木美里(湘南ベルマーレ)、田中敬子(NTT東日本・NTT西日本・スカイタワー58)、男子は細田雄一(ウイダー)と平野司(NTT東日本・NTT西日本)。さらに日韓親善大会のため、韓国の女子リー・ヒョンジュと男子ムン・シウン、加えて前週の蒲郡大会で2位となったガレス・ハルバーソン(オーストラリア)、昨年のアジア競技大



中央公民館に集まった8選手。左端は宮本光宏JTU事業広報副委員長

高木 美里
(湘南ベルマーレ)



昨年はこのレースは出られなかった。一昨年とコースが変わり、アップダウンが少なくなった。私は、バイクのアップダウンがあったほうが有利なので少し残念だ。スイムの早い選手が多いので、遅れないようにしたい。スイムで出遅れないようにし、バイクで差を詰めていきたい。

田中 敬子
(NTT東日本・NTT西日本・スカイタワー58)



ランのアップダウンがなくなったので、スイム、バイクで頑張っ差をつけて、差のつきにくいランで頑張りたい。レース展開がどうなるかは分からないが、スイム、バイクと自分の持てる力を出していきたい。とにかく明日は、自分の力を出し切るように頑張る。

細田 雄一
(ウイダー)



これまでのアップダウンの多いコースと違って、フラットなスピードコースになった。自分の好みは別として、選手たち個人個人でコースの好みは分かれるところだろう。自分としては、このスピードコースを楽しみたい。明日のレースの戦略は秘密。

2007年度社団法人日本トライアスロン連合(JTU) オフィシャルスポンサー&オフィシャルパートナー



海外の24選手を含め、64名がエントリー

NTTジャパンカップ第5戦七ヶ浜大会直前情報

会で銀メダルを獲得したダニエル・リー(香港)の8名がそろった。

まず、全員からコースの印象とレースへの抱負が語られたあと、韓国選手に韓国の強化方針について質問があり、ハルバーソン選手には蒲郡大会からの修正点、またダニエル・リー選手には最近の好成績の理由が聞かれた。

明日のレースは、女子は好調高木に古谷あかね(トヨタ車体)と蒲郡大会で思わぬ落車で後退した大松沙央里(トヨタ車体)、田中、菊池日出子(チームテイケイ)、中島千恵(トーション・日東紅茶・TEAM KEN 'S)らがどう挑むかが注目される。

また男子は、細田、平野、山本淳一(K's-Y・グリーンタワー・稲毛インター)、西内洋行(西京味噌)にオーストラリアからの11選手がどう絡んでいくかに勝敗の行方はかかっている。

この七ヶ浜大会は、前述のとおり日韓親善大会となっており、韓国から男女エリート6選手、エイジグループ20選手が参加している。

明日7月1日(日)は、男子が午前11時ちょうど、女子が午後12時10分のスタート。また、午前8時15分には一般の選手が出場する第13回みやぎ国際トライアスロン七ヶ浜大会がスタートする。

平野 司

(NTT東日本・NTT西日本)



私自身はアップダウンが好きだが、コース変更はどの選手にも同じ条件だから、自分の力を出すことが重要だ。明日は、オーストラリアの選手たちとダニエル・リー選手はスイムが速いので、最初から一緒に飛ばして逃げたい。つかまったら、そのときに作戦を立て直す。



左から、平野、細田、田中、高木、ハルバーソン、ダニエル・リー、ムン、リー・ヒョンジュ選手

2007年度社団法人日本トライアスロン連合(JTU) オフィシャルスポンサー&オフィシャルパートナー

